

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和7年10月24日

事業実施地区	小田切地区
事業名	イベント時使用木製テーブル、ベンチの製作支援事業
団体名及び 代表者名	(団体名) NPO 法人小田切オアシス (代表者名) 池田 茂 (連絡先) XXXXXXXXXX

■事業概要（選考委員会の助言を含む）

恒例となるイベントで交流の場として利用している木製テーブル、ベンチが老朽化したため、間伐材を利用して製作を行なった。杉材は老朽化が早いからカラマツ材を使用した。製作時、乾燥を充分に行い、防腐剤加工、設置時コンクリ平板を使用した。イベント以外に市民菜園利用者休憩用及び小田切オアシス活動作業時の打ち合わせに使用する。	【事業完了日】 令和7年10月24日 【総事業費】 139,000円 【補助金額】 137,000円
---	---

※活動状況や備品の表示がわかる写真・成果物等を別途添付

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

<p>イベントで交流する際、木製テーブル及びベンチを利用する人々が多くあり、今後も憩いの場として十分に活用できる。また、市民菜園利用者の休憩及び小田切オアシス作業活動打ち合わせに活用できている。</p> <p>10/6 納品以降 10/22 まで 市民菜園利用者が休憩として使用 延べ10名 小田切オアシスが作業活動打ち合わせに使用 延べ5名</p> <p>今まで木製テーブル、ベンチの利用者がなかったのが、新しくなり利用者が増えた。</p>

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容			○	
事業の効果		○		
特記事項 (評価理由等)	・間伐材はカラマツ材を使用して、腐食防止対策も施した。			

■今後の取組予定

・今後もアマワラビ採りツアー、野沢菜採りツアー、市民菜園利用者など交流の場を提供できるように実施する。

新規木製テーブル・ベンチ設置状況



- ・新規木製テーブル・ベンチ設置
2025/10/6納品設置
- ・テーブルは天板を外して冬季は倉庫内に保管可能
- ・イベントに応じてテーブル、ベンチの移動が可能
- ・防腐剤塗仕上げでコンクリ平板の上に設置して、腐食防止



支所発地域力向上支援金 事業評価(小田切支所)

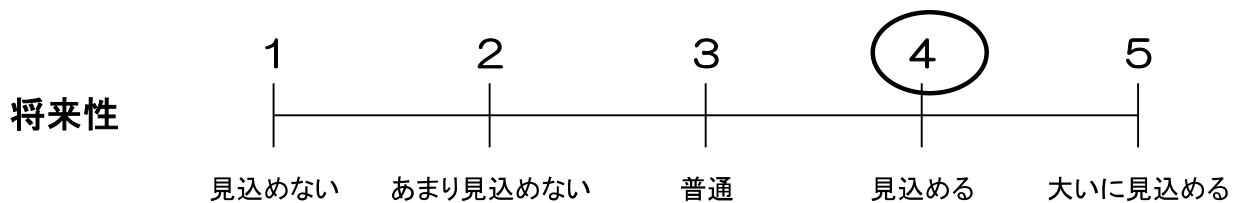
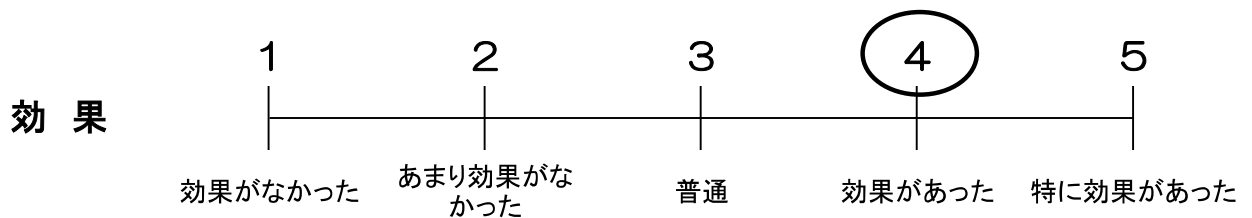
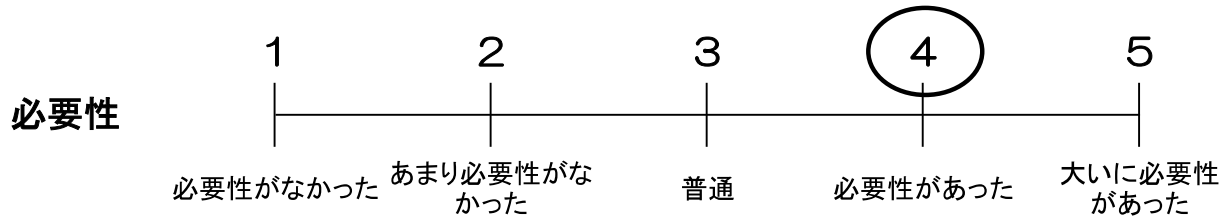
令和6年11月11日

事業名	枝豆・白菜の贈呈による長沼地区復興支援事業
------------	-----------------------

団体名	NPO法人 小田切オアシス
------------	---------------

評価項目 (選考基準の視点で評価)

事業区分	その他活動
------	-------



支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)

この復興支援事業(野菜の贈呈)は今年度で5年目を迎えている。継続した支援が交流の絆を深め、春にはアマワラビ狩りに長沼地区のみなさんが小田切地区を訪れている。こうした取組みが昼間の交流人口の増加に繋がっている。

今後も継続した支援により更なる交流の輪が広がることを期待します。
